

がん相談支援センターだより 第33号

【発行】：京都府立医科大学附属病院
がん相談支援センター

『セカンドオピニオン』って？

がんの診療では、患者や家族が正しい情報に基づいて担当医と十分に話し合い、納得して治療を受けることが大切です。患者が診断や治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別の医師に求める助言（第2の意見）及びそれを求めることをセカンドオピニオンといいます。主治医が準備した検査データや画像データを含めた紹介状（診療情報提供書）等をもとに、医師から説明をうけたり、意見をもらえたりします。ご家族も一緒に受けることができます。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス

最近では一般的に行われるようになってきましたので、担当医に気を遣う必要はありません。どこに相談したらいいか、主治医にどう伝えるか等悩んだ時は、がん相談支援センターでご相談ください。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 治療の選択肢が増える 治療選択の判断材料が増える 病気への理解が深まる 納得して治療を受けられる 	<ul style="list-style-type: none"> 経済的負担が増える（全額自己負担） 医療機関を探す手間がかかる 受ける間に病状が進行する可能性がある



がん相談支援センターのご案内

誰かに話したい時、相談したい時、いつでもがん相談支援センターにご連絡ください

がんに関する様々な疑問や悩みに対し、がん専門相談員が皆様のお話を伺い、一緒に考え、問題を解決するお手伝いをしています。

【相談時間】：平日（祝日除く）

9:00~12:00 ・ 13:00~16:00

【場 所】：外来診療棟1階 2 番窓口または 19 番窓口にお声かけください

【連絡先】：075-251-5283・5284(直通) gan-sou@koto.kpu-m.ac.jp



のれんが目印の19番窓口